

# 第3回 獣医学術功績者選考委員会の会議概要 (学術部会個別委員会)

I 日 時 平成22年11月10日(水) 10:30~12:00

II 場 所 日本獣医師会会議室

## III 出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会学術担当理事(日本大学総長)

### 【産業動物部門委員】

明石 博臣 日本産業動物獣医学会副会長(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

小岩 政照 北海道獣医師会理事(酪農学園大学獣医学部教授)

中尾 敏彦 日本産業動物獣医学会会長(元山口大学農学部教授)

<欠席:委任状提出>

○加茂前秀夫 日本産業動物獣医学会監事(東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授)

酒井 淳一 山形県獣医師会(山形県農業共済組合連合会参事)

### 【小動物部門委員】

宇根 智 大阪市獣医師会(株式会社ネオ・ベッツ)

○大橋 文人 日本小動物獣医学会監事(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

西村 亮平 日本小動物獣医学会理事(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

丸尾 幸嗣 日本小動物獣医学会副会長(岐阜大学応用生物科学部教授)

諸角 元二 埼玉県獣医師会(戸ヶ崎動物病院院長)

<欠席:委任状提出>

多川 政弘 日本小動物獣医学会理事(日本獣医生命科学大学獣医学部教授)

### 【公衆衛生部門委員】

石黒 直隆 日本獣医公衆衛生学会会長(岐阜大学応用生物科学部教授)

○熊谷 進 東京都獣医師会(東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授)

福島 博 島根県獣医師会(元島根県保健環境科学研究所保健科学部長)

山田 章雄 日本獣医公衆衛生学会副会長(国立感染症研究所獣医科学部長)

<欠席:委任状提出>

山本 茂貴 日本獣医公衆衛生学会理事(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長)

【本 会】 大森 伸男(専務理事)

## IV 議 事

平成22年度日本獣医師会獣医学術賞(獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞)の選考・審査等

## V 会議概要

開会に当たり、酒井委員長から挨拶が行われた後、委員の出欠の確認が行われ、

欠席委員からは各部門副委員長への委任状が提出されていることが事務局から報告された。

また、産業動物部門の加茂前副委員長が欠席のため、酒井委員長から「産業動物部門の副委員長代理として、日本産業動物獣医学会の会長でもある中尾委員にお願いする」旨が提案され、異議なく了承された。

## 平成 22 年度日本獣医師会獣医学術賞（獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞）の選考・審査等

事務局から、日本獣医師会獣医学術賞の選考・審査に関する規程等について説明した後、獣医学術奨励賞については日本獣医師会雑誌に掲載された研究論文（原著・短報）の中から、獣医学術功労賞については推薦のあった業績の中からそれぞれ部門ごとに選考・審査が行われ、各部門の副委員長（副委員長代理）から審査結果と選考理由がそれぞれ以下のとおり報告された。

### 【 産業動物部門 】

#### 〔 獣医学術奨励賞 〕

妊娠末期における母牛の栄養状態が出生後の黒毛和種産子の末梢血白血球ポピュレーションに及ぼす影響  
田波絵里香（青森県開業）、他  
<選考理由>

黒毛和種の子牛では高率に疾病が発生し、肉牛生産性阻害の重要な原因となっている。本論文では、母牛の妊娠末期の栄養状態が子牛の末梢血白血球サブポピュレーションに及ぼす影響を詳細に調査し、分娩前の低栄養が子牛の免疫抵抗性の低下を招く可能性のあることを明らかにしている。この内容は、獣医学術の進歩に大きく貢献するものであり、今後の研究の発展性が期待できることを評価した。

#### 〔 獣医学術功労賞 〕

牛の代謝病に関する研究とその応用・普及  
川村清市（北里大学・名誉教授）  
<選考理由>

長年にわたり、産業動物獣医学の研究と教育に従事し、特に牛の代謝病に関して顕著な業績をあげている。また、これらの研究の成果の臨床応用と普及にも積極的に取り組み、我が国の産業動物獣医療の発展にも大きく貢献したことを評価した。

### 【 小動物部門 】

#### 〔 獣医学術奨励賞 〕

犬の胆道造影 CT 検査におけるイオトロクス酸メグルミン投与量と胆道系の CT 値および胆道系描出の経時的变化  
宇野雄博（愛媛県開業）、他  
<選考理由>

本研究は、胆道造影 CT 検査におけるイオトロクス酸メグルミンの投与量および撮像時間について検討を行ったものである。従来、胆道造影 CT 検査における造影剤の投与量および撮像時間等は、明確な科学的根拠がないまま人での条件および経験等に基づいて行われてきたが、本研究においては多くの供試犬を用いて、客観的な

試験法により明確な科学的根拠を基盤として最適な投与量および撮像時間を明らかにしたことを評価した。

#### 〔 獣医学術功労賞 〕

小動物臨床における各種診断法の向上等による臨床獣医学の発展への貢献

大西堂文（山口大学・名誉教授）

##### < 選考理由 >

小動物臨床における内科学領域、特に診断法についてさまざまな研究を行い、本学会誌をはじめ国内外の獣医関連雑誌に多くの論文を掲載するとともに、本会の学会等で多くの研究発表を行うなど、獣医診断学並びに獣医内科学の向上・発展に大きく貢献したことを評価した。

#### 【 公衆衛生部門 】

#### 〔 獣医学術奨励賞 〕

豚サーコウイルス 2 型および豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスに感染した肥育豚からの *Cryptosporidium parvum* pig genotype II と *Cryptosporidium suis* の検出

油井 武（埼玉県中央家畜保健衛生所）、他

##### < 選考理由 >

本研究は、養豚場での発育不良肥育豚の病性鑑定において、豚サーコウイルスと豚繁殖呼吸障害症候群ウイルスへの感染に加え、クリプトスポリジウム・スイスへの感染を見出し、同原虫と消化管病変についての詳細像を明らかにしたものである。同原虫は人への感染が認められていることから公衆衛生上重要な問題を提起し、今後の獣医公衆衛生分野の学術調査の発展に貢献するものと考えられることを評価した。

#### 〔 獣医学術功労賞 〕

国際連携に基づく人獣共通感染症の疫学研究

森田千春（元酪農学園大学・教授）

##### < 選考理由 >

長年にわたり、ウイルス、細菌、原虫等の人獣共通感染症病原体の疫学研究に従事するとともに、公衆衛生獣医師の育成、人獣共通感染症研究者と疫学研究者の育成に心血を注ぎ、さらに、アジア・アフリカ諸国の研究者との国際共同研究を推進し、人獣共通感染症の疫学研究に優れた業績をあげ、これら研究活動を通じて大学や研究機関での人材育成を含め、世界的視野での獣医公衆衛生学の発展に著しく貢献したことを評価した。

## VI まとめ

第3回委員会は、酒井委員長によって以下のとおりとりまとめられた。

- 1 第4回委員会は平成23年2月12日（土）、平成22年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岐阜）の会場である岐阜都ホテルにおいて開催すること。
- 2 平成22年度日本獣医師会獣医学術賞の表彰は、平成22年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岐阜）の場において行うこと。